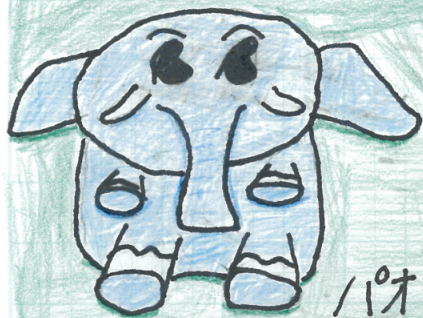




パオくん

ナウマンゾウの歴史

ナウマンゾウ新聞

約十二万年前、地球は、

「リス氷期」と呼ばれる

寒い時期を終え、今より

温暖かい時期「間氷期」を

むかえました。

十勝では南部

を中心として、

あちうこちら

に大小さまざま

な湿原が広

がっていまし

た。

ナウマンゾウ

は、約二〜三

万年前の新生代更新世後

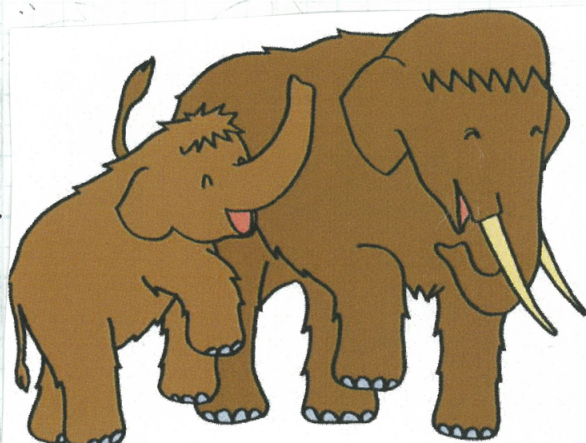
期まで日本列島や東アジ

ア大陸に生息していたと

言われています。

へ新生代更新世後

小規模な団体生活。



立町小学校
南内
別内
幕別
R7
鈴木夏萌

「カチン！」

それは、中ノ郷村一当時への歴史を大

きく変える衝撃の音でした。

日本で初めて全身骨格の復元に成功

したナウマンゾウの化石は、

一九六九年七月、忠類晩成

地区の農道工事現場で偶然

に見えられた。側溝掘

り作業の際、アルバイトの

少年がリルハシを地面に打

ち下ろした先に、湯たんぽ

のような模様がある楕円形

の塊が出てきました。少年

はそれが理科の教科書に載

っているゾウの歯によく似て

に気づきました。

そして専門家による調査の結果ナウマ

ン象の臼歯だと分かったのです。

へ引用

北海道開拓局、倉敷市立自然史博

偶然!?
カチン! 世紀の発掘